

武蔵野市地域包括ケア推進人材育成センター（仮称）について

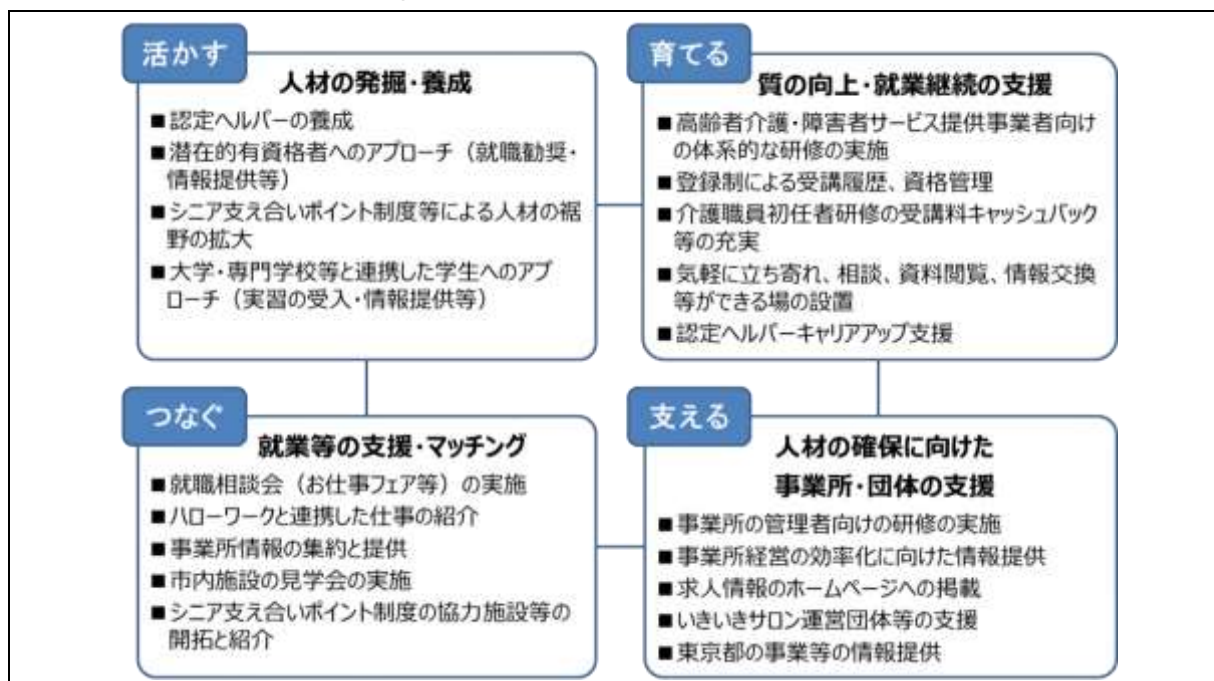
1 武蔵野市第 3 期健康福祉総合計画の記載

団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年には、介護サービス量の増加に伴い、介護職員を現在の 1.31 倍増加させる必要があります。介護人材の確保は喫緊の課題とされ、昨年度実施した介護職員・看護職員実態調査でも「人材確保のための施策の推進」を本市で働き続けるために、市に求めることとして選んだ人が 58.0%でした。このことから、人材の流出を防ぎ、新たに確保することが求められています。

○「地域包括ケア推進人材育成センター（仮称）」の設置

- 専門職と地域の担い手も含めた人材育成と確保に関する事業について、「地域包括ケア推進人材育成センター（仮称）」を設置して、検討していきます。
- 地域包括ケア推進人材育成センター（仮称）の機能と業務の検討にあたっては、国、都における介護人材確保策との連携と役割分担が必要です。
- 設置については、武蔵野市認定ヘルパーの養成、介護職員初任者研修の実施などで実績のある公益財団法人武蔵野市福祉公社のノウハウを活用すべきと考えます。
- また、ボランティアセンター武蔵野を運営する社会福祉法人武蔵野市民社会福祉協議会や公益社団法人武蔵野市シルバー人材センターとの連携についても検討します。

図表 46 地域包括ケア推進人材育成センター（仮称）のイメージ



◆主な施策の取組み

主な施策	内 容
地域包括ケア推進人材育成センター（仮称）の設置	・介護人材・福祉人材の発掘・養成、質の向上、相談受付・情報提供、事業所・団体支援までを一体的に行う、総合的な人材確保・養成機関として、「地域包括ケア推進人材育成センター（仮称）」を設置します。【第5期地域福祉計画】【高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画】 ・「地域包括ケア推進人材育成センター（仮称）」の設置により、人材養成、育成とともに有効な活用を図ります。また、福祉人材が地域に定着できるよう、支援に必要な情報の集約・発信、相談機能を充実するなど、人材の確保・育成に取り組めます。【障害者計画・第5期障害福祉計画】

2 平成 30 年度 予算

予算額 : 11,810,000 円（委託料）

委託先 : 公益財団法人武蔵野市福祉公社

当面の委託内容：

- (1) 武蔵野市地域包括ケア推進人材育成センター（仮称）の開設準備に関すること。
- (2) 市民に向けた就職に関する情報提供に関すること。
- (3) 就職相談会等の就業支援に関すること。
- (4) 高齢者介護・障害者サービス提供事業者の従事者向けの研修に関すること。
- (5) 高齢者介護・障害者サービス提供に係る資格の取得に向けた支援に関すること。
- (6) 高齢者介護・障害者サービス提供事業者向けの各種情報提供に関すること。
- (7) その他、人材の確保・育成の推進に関すること。

平成 30 年 10 月 1 日 センター開設予定